

LOBO 調査

早期景気観測

3月分 日商調査日 3月8日～15日
当所調査日 3月8日～19日

LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、会員企業40社の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

日商調査
3月の全産業DI ▲12.9
(前月比±0.0ポイント)

○中小企業の景況感

建設業は、住宅関連を中心に民間工事の不振が続く、悪化した。小売業は、物価高による消費者の買い控えの継続が重荷となり、悪化に転じた。一方、サービス業は、人手不足は継続するものの、国内外の観光需要増の恩恵を受けた飲食・宿泊業が下支えし、ほぼ横ばいとなった。製造業は、食品関係の需要増のほか、自動車関係も堅調に推移し、改善となり、卸売業も、製造業にけん引され、改善した。

日経平均株価の最高値更新など、景気回復の兆しが見える一方、物価の高止まりや円安基調などによるコスト増が継続している。また、人手不足による受注機会の損失やコスト増に見合う価格転嫁もできておらず、業況は足踏みとなった。

○先行き

先行き見通しDIは▲12.2

(3月比+0.7ポイント)

新年度の歓迎会や企業の新たな設備投資需要の増加などによる国内需要の拡大、政府の令和6年度事業による経済活性化など、改善への期待感がうかがえる。

一方、物流費の高騰や人材確保に向けた賃上げなど、企業負担は増加が継続している。加えて、人材確保や生産性向上、労務費を含む価格転嫁など、対応するべき課題が多く、先行きは力強さを欠いている。

【関東ブロックの業況についてのコメント】

業績改善に伴い、定期昇給に加えて賞与の引き上げも実施したものの、人手不足は継続しており、受注機会の損失が生じている。(一般工事業)
最低賃金の引き上げに伴い、賃上げを実施した。(呉服・服地小売業)

【当所調査】

「依然、資材高騰、人手不足の影響強く」

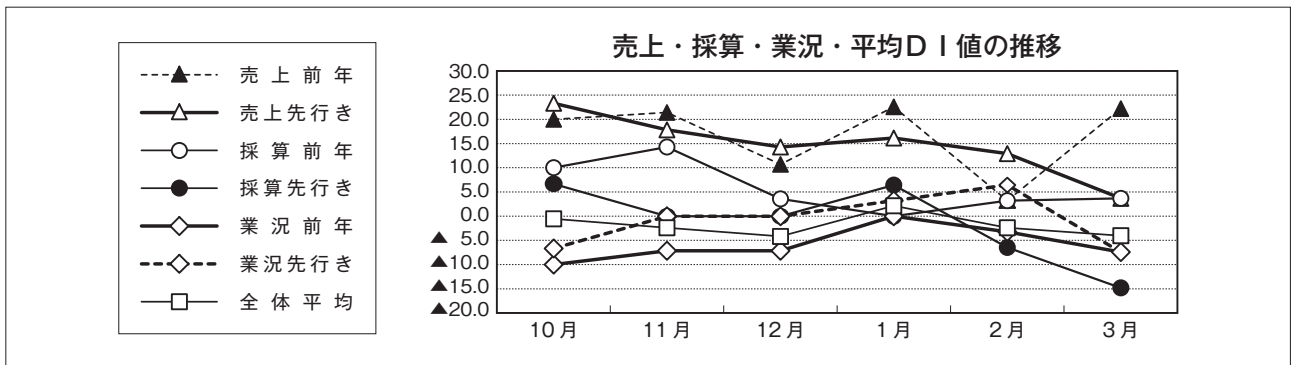
全体平均DIは▲4.0で前月に比べ▲1.6ポイントの悪化。項目別では、売上前年+19.0と改善も見られたものの、業況先行き▲13.9ポイント、資金先行き▲12.9ポイントなど、先行き項目で悪化が見られた。コメントには「資材は高騰しているが、価格転嫁ができず、厳しい状況である」「(建物・土地売買業)や、「需要はあるが、人材不足であり、採用も難航している」(その他の老人福祉・介護事業といった、価格高騰や人手不足による影響が伺えた。

(全産業)

水戸商工会議所会員企業LOBO調査(DI値推移)

(サンプル数40社)

項目	令和5年				令和6年		
	3月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上前年	5.7	20.0	21.4	10.7	22.6	3.2	22.2
売上先行き	14.3	23.3	17.9	14.3	16.1	12.9	3.7
採算前年	▲40.0	10.0	14.3	3.6	0.0	3.2	3.7
採算先行き	▲22.9	6.7	0.0	0.0	6.5	▲6.5	▲14.8
仕入前年	▲80.0	▲66.7	▲67.9	▲71.4	▲61.3	▲64.5	▲55.6
仕入先行き	▲68.6	▲60.0	▲67.9	▲53.6	▲54.8	▲45.2	▲51.9
社員前年	31.4	23.3	28.6	32.1	38.7	29.0	25.9
社員先行き	25.7	33.3	28.6	25.0	38.7	25.8	25.9
業況前年	▲20.0	▲10.0	▲7.1	▲7.1	0.0	▲3.2	▲7.4
業況先行き	▲2.9	▲6.7	0.0	0.0	3.2	6.5	▲7.4
資金前年	▲22.9	16.7	3.6	3.6	9.7	▲3.2	7.4
資金先行き	▲11.4	3.3	0.0	▲7.1	6.5	12.9	0.0
全体平均	▲16.0	▲0.6	▲2.4	▲4.2	2.2	▲2.4	▲4.0



※DI値(景況判断指数) = (増加・好転等の回答数 - 減少・悪化等の回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するもの。